

【サステナビリティ】
2022年10月26日

各位

株式会社 **キッツ**

代表取締役社長 河野 誠
千葉市美浜区中瀬一丁目10番1
6498(東証プライム)

タイの生産子会社に太陽光発電システムを増設

キッツグループのタイの生産拠点で青銅・黄銅製バルブ及びバタフライバルブの製造を担うKITZ (Thailand) Ltd.は、カーボンニュートラルに向けた取り組みとして太陽光発電システムを増設し、2022年9月に稼働を開始しました。

記

■背景と目的

世界的に環境保全への取り組みが進められる中、タイ国においても環境負荷低減に向けた企業の社会的責任に対する意識が高まりを見せています。

キッツグループは、環境長期ビジョン「3ZERO(トリプルゼロ)」を掲げ、CO₂ゼロ、環境負荷ゼロ、リスクゼロに向けた取り組みを進めています。KITZ (Thailand) Ltd.では、ISO14001取得企業として社会的責任を果たすとともに、環境負荷低減に寄与するため、2016年にメイン工場であるBangplee(バンプリ)工場に1,500枚の太陽光パネルを導入しましたが、このたび2,112枚を増設し、総パネル数3,612枚となりました。



上空からの様子

■効果

1. 発電量

発電量は、Bangplee 工場における 2021 年の月平均使用電力量の 10.3%に相当

2. CO₂ 排出削減量

753 トン/年

(株式会社キッツ 経営企画本部環境安全部が日本の基準において試算)

以上